

(講座) 環境薬科学

(研究室) 衛生化学

(氏名) 小野正博

(職名) 助手

【研究テーマ】

1. アルツハイマー病脳における老人斑アミロイドのインビボ画像化に関する研究
2. 生体代謝機能を利用した放射性蛋白質・ペプチド性医薬品の分子設計に関する研究
3. 骨疾患の診断を目的とした骨代謝機能測定剤の開発に関する研究

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

M. Haratake, M. Ono and M. Nakayama: Penicillamine selenotrisulfide as a selenium-source in mice. *Journal of Health Science*. 50(4) 366-371 (2004).

【学会発表】

A 国際学会

(A-b) 一般講演

1. M. Nakayama, M. Haratake, M. Ono : Development of a new $^{68}\text{Ge}/^{68}\text{Ga}$ generator using organic polymer containing *N*-methylglucamine groups. 6th China-Japan Joint Seminar on Radiopharmaceutical Chemistry, September 22~25, 2004(Beijing)

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 藤本 勝好、原武 衛、小野 正博、中山 守雄：ペニシラミン置換グルタチオンを使ったセレノトリスルフィドの合成、日本薬学会第 124 年会、2004 年 3 月（大阪）
2. 金子 善和、小野 正博、原武 衛、中山 守雄、Hank F. Kung：新規アミロイド β ペプチド結合性放射性薬剤の開発：(E)-3-styrylpyridine 誘導体の合成とその評価、日本薬学会第 124 年会、2004 年 3 月（大阪）
3. 中山 守雄、安本 和善、原武 衛、小野 正博：天然海水中の極微量金属分析のための多孔性グリシジルメタクリレート-エチレングリコールジメタクリレート高分子基体の設計と合成、第 65 回分析化学討論会、2004 年 5 月（沖縄）
4. 藤本 勝好、原武 衛、小野 正博、中山 守雄：赤血球内亜セレン酸代謝におけるセレン-ヘモグロビン結合体形成へのセレノトリスルフィドの関与、第 15 回日本微量元素学会、2004 年 7 月（東京）
5. 藤本 勝好、原武 衛、小野 正博、中山 守雄：ヘモグロビンによる赤血球膜へのセレンの運搬、フォーラム 2004：衛生薬学・環境トキシコロジー、2004 年 10 月（千葉）
6. 高橋 順子、原武 衛、小野 正博、中山 守雄：栄養素としての煮干かたくちいわし中セレンの評価、フォーラム 2004：衛生薬学・環境トキシコロジー、2004 年 10 月（千葉）
7. 小野 正博、中山 守雄：アルツハイマー病の診断を目的とする老人斑アミロイド画像

化薬剤の開発研究、第4回放射性医薬品・画像診断薬研究会、2004年11月（京都）

8. 藤本 勝好、原武 衛、小野 正博、中山 守雄：ヘモグロビンによる赤血球膜へのセレン運搬機構の解明、第21回日本薬学会九州支部大会、2004年12月（長崎）
9. 高橋 順子、原武 衛、小野 正博、中山 守雄：煮干かたくちいわし中セレンの分析と栄養素としての評価、第21回日本薬学会九州支部大会、2004年12月（長崎）

【特許】

中山 守雄、原武 衛、小野 正博、森 啓、アミロイド関連疾患診断用組成物（特願2004-341370号）

【研究費取得状況】

1. アルツハイマー病の早期診断を目的とする老人斑アミロイド画像化薬剤の開発；文部科学省科学研究費若手研究（B）

【過去の研究業績総計】

原著論文（欧文）	23 編	（邦文）	1 編
総説（欧文）	1 編	（邦文）	0 編
著書（欧文）	0 編	（邦文）	0 編
紀要（欧文）	0 編	（邦文）	0 編
特許	1 件		